

令和6年第4回燕市議会定例会
一般質問日程表

質問日	質問者	質問方式	
		一括質問	一問一答
12月11日(水)	午前 1 高橋 妙子 議員		○
	午後 2 斎藤 和也 議員		○
	3 近藤 隆行 議員		○
	4 佐野 大輔 議員		○
	5 藤井 秀人 議員		○
12日(木)	午前 6 大島 靖浩 議員		○
	7 小林 由明 議員		○
	午後 8 土田 昇 議員		○
	9 長井由喜雄 議員		○
	10 田澤 信行 議員		○
13日(金)	午前 11 小林 秋光 議員		○
	12 岡山 秀義 議員		○
	午後 13 斎藤 信行 議員	○	
	14 稲村 隆行 議員		○
	15 田中 淑子 議員		○
16日(月)	午前 16 宮路 敏裕 議員		○
	17 タナカ・キン 議員		○

令和6年第4回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
1	高橋妙子 (一問一 答方式)	1. 5歳児健 診につい て	(1) 5歳児健 診につい て	<p>国の令和5年度補正予算による「1ヶ月児」及び「5歳児」健康診査支援事業は、新たに「1ヶ月児」及び「5歳児」に対する健診の費用を助成することにより、健診の実施において、出産から就学前まで切れ目のない支援を行えるよう事後相談も含め、健診の実施体制を整備することを目的としています。</p> <p>今回は「5歳児」健診に関する質問となります。</p> <p>5歳児健診の実施によって、発達の特性があらわれた子どもを早期かつ適切に支援に繋げができるよう、また、保護者の方々に安心して就学を迎えていただけるよう、相談体制の強化も重要になってくることを踏まえ、質問させていただきます。</p> <p>①5歳児健診の導入に関して、市のお考えを伺います。</p> <p>②5歳児健診の実施方法及び健診内容を伺います。</p> <p>③就学児健診と5歳児健診のそれぞれの違いと実施目的を伺います。</p>
		2. SOSの 出し方に 関する教 育につい て	(1) SOSの 出し方に 関する教 育につい て	<p>子どもの自殺防止の観点から、「SOSの出し方教育」は、非常に重要だと考えます。</p> <p>県においても、「新潟県自殺予防教育プログラム」を作成しており、各学校において実施されていると認識しております。</p> <p>プログラムを活用し、教育の一環として取り組むことにより、児童生徒だけではなく、教職員や保護者の方々にも、援助希求行動の重要性を認識していただけたのでは、と考えています。</p> <p>以上を踏まえて質問させていただきます。</p> <p>①燕市における「SOSの出し方に関する教育」の実施内容とその現状について伺います。</p> <p>②新潟県自殺予防教育プログラム（小中学校編）は先生方が指導にあたる上で参考になるものだと認識していますが、児童生徒の発達段階や実態を踏まえた上で、各学校ではどのように活用しているのか伺います。</p> <p>③SOSの出し方教育を受ける前にアンケートを取っていると認識しています。その中で、授業を受けることに対して抵抗感を示す子どももいると思いますが、そうした子どもたちに対してどのように対応されているのか伺います。</p> <p>④子どもたちが困難な状況に置かれた時に、援助希求行動のスキルを身につけることは非常に重要だと考えますが、SOSの出し方教育を実施する上で、市として一番大切にしていることは何か伺います。</p> <p>⑤SOSの出し方教育の目的を伺います。</p>

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
2	齋藤 和也 (一問一 答方式)	1. 廃校施設の現状と今後について	(1) 旧松長小学校の現状と今後について	<p>厚生労働省より平成30年度時点で平成14～29年調べで、平均約470校程度、延べ7,583校の公立学校の閉校がなされております。燕市では、今年3月に松長小学校が閉校いたしました。以上を踏まえ、以下の内容を伺います。</p> <p>①閉校後の旧松長小学校の利活用状況について伺います。</p> <p>②どのように旧松長小学校の利活用をしていくのか今後の展望について伺います。</p>
			(2) 統廃合後の施設の在り方にについて	<p>燕市建物系公共施設保有量適正化計画も中期となり、様々な公共施設の在り方について、より一層考え方や方向性を深めていかなければならない時期になっていきます。特に小・中学校については将来的な児童数の動向を踏まえて隨時検討が必要となります。以上を踏まえ、以下の内容を伺います。</p> <p>①今後廃校になる公立学校の利活用や在り方について、現状のお考えを伺います。</p>
		2. 言葉の壁について	(1) 外国にルーツを持つ児童生徒の日本語指導について	<p>文部科学省の調査では、日本語指導を必要としている児童生徒が増加しており、高校中退率が高い傾向にあります。また、外国にルーツを持つ児童生徒への学習支援が課題となっています。以上を踏まえ、以下の内容を伺います。</p> <p>①市として、外国にルーツを持つ児童生徒の現状や今後の対策について伺います。</p>
3	近藤 隆行 (一問一 答方式)	1. 若者支援について	(1) 結婚支援について	<p>①国や民間企業による若者の最新調査によると、結婚を希望する若者は、男女共に8割を超える。また別の調査で、結婚できない理由については、男女共に「適当な相手にめぐり会わないから」が5割弱となっている。市民からも同様の声をもらっており、このような調査結果から、若者を支援するにあたり結婚支援、特に男女の出会いの支援が重要であると考えられる。市は「つばコン」を開催しているが、その開催状況について伺う。</p> <p>②市には結婚支援に協力してくれる企業や団体として、「出会い応燕団」がある。その中には、ものづくり企業、団体も多い。婚活イベントでは、体験型が好評との調査結果もある。例えば、そのような企業、団体と連携したものづくり体験型の婚活イベントの開催など、「出会い応燕団」との連携をより強化する必要があると考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>③市では今年度から、結婚支援ボランティアの育成を開始とのことだったが、その状況を伺う。</p> <p>④結婚相談所等の相談サービスを提供する自治体も多く、市にも必要と考えるが、見解を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
3	近藤 隆行 (一問一 答方式)	1. 若者支援について	(1)結婚支援について	⑤結婚支援ボランティアなどで構成され、様々な結婚支援、婚活イベントなどのサポートしてくれるチームやネットワーク等が市にも必要と考えるが、見解を伺う。
		2. 認知症支援について	(1)認知症による行方不明者の対応について	<p>①市が公表している10月人口統計表では、高齢者人口は24,285人となり、高齢者人口の割合は約32%となっている。高齢化社会において認知症も増加傾向で、国では5人に1人が認知症になるという推計もあり、燕市で考えると約4,900人いると推測される。認知症の家族を持つ方から、「行方不明になったことがあり困っている」などの不安の声を様々もらった。市は認知症による行方不明者についての把握があるか伺う。</p> <p>②群馬県高崎市では、認知症の行方不明を防ぐシステムとして、GPS機器を無料で貸出している。行方不明になった場合は、見守りセンターが24時間365日対応し、行方不明者の位置情報等の連絡、捜索、保護に役立っている。市でもこのようなシステムが必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>③市では新潟県警察と連携して、「おかえりつばめヘル」を実施しているが、その運用状況を伺う。</p> <p>④福岡県大牟田市では、認知症になっても安心して外出できる環境づくりとして、「ほっとあんしんネットワーク」による模擬訓練をしており、子どもから高齢者まで参加し、各地域ごとに実施している。おかえりサポーターを増やすとともに、このような取り組みも必要と考えるが、市の見解を伺う。</p>
4	佐野 大輔 (一問一 答方式)	1. 燕市における避難所の在り方について	(1)指定避難所について	<p>燕市では、災害の危険性がなくなるまで、あるいは災害により家に戻れなくなった際に必要な期間滞在が可能な避難施設として指定避難所を設定している。</p> <p>①指定避難所を設置する必要性と役割を伺う。</p> <p>②設置する範囲について、市の考えを伺う。</p>
			(2)保育園の民営化における指定避難所の変更について	<p>燕市においてはここ数年、保育園の民営化が行われており、それまで指定避難所だった保育園も民営化に伴い、指定避難所から外れている。</p> <p>①民営化した保育園が指定避難所から外れることでの市民への影響について伺う。</p> <p>②指定避難所から外れる際の地域や市内の方々への周知について伺う。</p>
		2. 交通安全について	(1)交通事故多発地帯への対応について	<p>一般社団法人日本損害保険協会が発表した令和5年の新潟県の交差点の事故状況の報告によれば、事故件数による順位付けにおいてワースト3に唯一新潟市外から「燕市小関1168番地付近交差点」が挙げられていた。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
4	佐野大輔 (一問一答方式)	2. 交通安全について	(1) 交通事故多発地帯への対応について	<p>①「燕市小関1168番地付近交差点」の交差点および周辺の交通事故多発場所における市の対応について伺う。</p> <p>②対応を踏まえて現在までの交通事故の状況について伺う。</p> <p>③交通事故多発地帯における対応について、対応基準や市の方針について伺う。</p>
		3. eスポーツの普及について	(1) 燕市におけるeスポーツの認識について	<p>eスポーツについてはさまざまなメリットや可能性が報告されている。</p> <p>日本eスポーツ白書2023では2022年で日本におけるeスポーツファン数776万人、市場規模は126億と算出されており、2025年には200億円を超えると推定されている。</p> <p>また、数値で見える部分以外でも、年齢や性別、障害の有無によらず楽しめるインクルーシブ性があるのもeスポーツの魅力である。</p> <p>①市としてeスポーツの効果についてどのように考えているか伺う。</p>
			(2) 今後のeスポーツへの市の対応について	<p>①市として今後、eスポーツの推進に向けてどのように考えているか伺う。</p> <p>②民間でも市内において活動を考える企業や団体も増えてきているが実施している団体等への支援の在り方について伺う。</p> <p>③市では「未来いきいき地域クラブ」として部活動の地域移行が行われているなかで、来年度はすべてのスポーツ・文化活動で実施する計画となっているが、その中にeスポーツも含めてはいかがか伺う。</p>
5	藤井秀人 (一問一答方式)	1. 石港遺跡について	(1) 石港遺跡について	<p>①大河津分水改修事業を円滑に進めるため石港遺跡の記録保存にかかる発掘調査(現場調査)を令和4年より実施し、来年令和7年まで行われる中で県内初となる方形区画施設の検出や頭椎大刀の出土など、古墳時代を通して重要な発見が続いているが、今後は出土した貴重な遺物や今後4年をかけ作成される報告書内容も含め、どのような形で残していくのか、また関係する機関に何らかの要請をされる考えがあるのか伺う。</p> <p>②出土品の展示を定期的に行っているのは承知しているが、もっと多くの市民に見ていただけるよう展示場所、回数も含め検討する考えがあるのか伺う。</p> <p>③現地説明会の開催も何度か行われているが、どのような反応なのか伺う。</p> <p>④100年前に大河津分水工事の際に発掘された土器や遺物、またその後発見されたものも含め、石港遺跡の展示にあわせ、検討すべきと考えるが、見解を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
5	藤井秀人 (一問一答方式)	2. こども教育、小中学校での課題について	(1) こども教育について (2) 小学校での課題について (3) 中学校での課題について	<p>①令和元年から令和8年まで第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画を行っているが、実施計画も残り1年ちょっとの段階となり、現在の実施状況を伺う。</p> <p>②計画の中で民営化計画を進めて来たが、今後は更なる民営化を推進していくと考えなのか伺う。</p> <p>①最近のたび重なる不審者情報を聞くに、通学時の子供の安全確保がなされているのか心配になる。学校単位での対応の違いはあるにせよ、教育委員会として何らかの対策は考えられているのか伺う。</p> <p>②中学校の部活動の地域移行について小学校在学中にどのような説明対応を行っているのか伺う。</p> <p>①これから降雪の時期を迎えるが、徒歩で50分もかけ通学をしている生徒もあり、マイクロバスでの対応は出来ないものかと感じるが、現在の子供達の状況は把握されているのか伺う。</p> <p>②不登校、引きこもりも増えている現状の中で、先日、新発田市の市民団体「夜間中学校の設置を求める会」メンバーが新発田市教育委員会と県教育委員会を訪れ、夜間中学校設置に向けた具体的な取り組みを速やかに行うよう申し入れた。当市においてもそのような要望は出でていないのか伺う。</p>
6	大島靖浩 (一問一答方式)	1. 燕市における人手不足への対応に係る、外国人労働者の積極的な受け入れについて	(1) 燕市における労働力の現状について (2) 本市における経済センサスから見た人手不足への対応について	<p>令和6年11月1日付け新潟日報によれば本県の人口は209万8,804人。生産年齢人口の割合は55.1%で全国平均より4.4ポイント低い。「社会を支える世代を確保しどのように県勢を維持していくのか。官民の知恵と実行力が問われている。」との記事が掲載された。また、広報つばめ11月号において多様な人材が活躍するために一歩先の未来をつくるダイバーシティ経営について特集が組まれるほど本市の人手不足は深刻な状況下にある。</p> <p>①燕市（以下「本市」という。）における平成22年、同27年及び令和2年の国勢調査就業状態等基本集計結果から見た労働力人口及び労働力率の変化について認識を伺う。</p> <p>②これまで本市が労働力率向上のために実施してきた施策について伺う。</p> <p>①令和3年経済センサス-活動調査（製造業）における事業所数と従業者数についてそれぞれの前年比について伺う。</p> <p>②2020年農林業センサス農林業経営体調査における農業経営体、個人経営体、総農家数、農業従事者数、基幹的農業従事者の数、割合及び前回調査との比較について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
6	大島 靖浩 (一問一 答方式)	1. 燕市における人手不足への対応に係る、外国人労働者の積極的な受け入れについて	(3) 本市における人手不足解消のための施策に係る外国人労働者の積極的な受け入れについて	<p>①これらの統計から人手不足を補うために外国人労働者の積極的な受け入れは効果的であると思われるが本市の認識を伺う。</p> <p>②これまで本市が外国人労働者受け入れのために実施してきた施策について伺う。</p> <p>③11月6日に実施した外国人材受け入れセミナーにおける、出席事業者数とアンケート調査の結果から見た参加企業の反応について伺う。</p> <p>④これまでに実施した外国人材受け入れセミナー後受け入れが成立した件数と外国人労働者数について伺う。</p> <p>⑤成立した件数及び人数からすれば本事業は成功であったと言えるか。</p> <p>⑥本市において外国人労働者を受け入れやすくするため、外国人材受け入れアドバイザー（以下「アドバイザー」という。）を雇用しているが業務内容について伺う。</p> <p>⑦アドバイザーはどのような資格を有して実施しているか伺う。</p> <p>⑧アドバイザーが担当した案件について、昨年度1年間の相談件数及び相談内容で多かった上位3位について伺う。</p> <p>⑨相談内容のうち好例があれば伺う。</p> <p>⑩当業務に係る年間の事業費用額について伺う。民間の受け入れ組合（個人）が多数存在し、相談業務も一般的であると思われることから、総合的に判断して費用対効果は適切か伺う。</p>
			(4) 本市の外国人労働者の現状について	<p>①本市における外国人雇用事業所数、国籍及び国籍別人員について伺う。</p> <p>②在留資格別人員数（「技能実習」、「身分に基づく在留資格」及び「専門的・技術的分野の在留資格」）及び外国人労働者数全体に占める割合について伺う。</p>
			(5) 地域における多文化共生推進プランから見た本市の外国人労働者のケアについて	<p>①本市においては総務省が提唱している「地域における多文化共生推進プラン」は策定されているか伺う。</p> <p>②行政情報の多言語化、生活相談窓口の設置、通訳ボランティアの育成、情報提供の流通ルートの確保がなされているか伺う。</p> <p>③オリエンテーション、日本語・日本社会に関する学習機会の提供がなされているか伺う。</p> <p>④本市が直接設置しなくても市民団体等活用し運営費用の一部助成を行っても良いと思われるがどうか。</p> <p>⑤多言語情報による居住支援、不動産業者への啓発について伺う。</p> <p>⑥ハローワーク・商工会議所との連携による就業支援・就業環境の実施状況及び改善について伺う。</p> <p>⑦問診票の多言語表記、広域的な通訳派遣システムの構築について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
6	大島 靖浩 (一問一 答方式)	1. 燕市における人手不足への対応に係る、外国人労働者の積極的な受け入れについて	(5) 地域における多文化共生推進プランから見た本市の外国人労働者のケアについて	<p>⑧平常時の防災教育・訓練、災害時の災害情報伝達について外国人対応の防災計画の位置付けについて伺う。</p> <p>⑨2022年10月16日燕市児童研修館こどもの森で実施された「外国人の皆さんとの交流会つながる防災プロジェクト」の効果検証について伺う。</p> <p>⑩2023年10月29日に実施した「つばめ多文化交流会」における効果検証について伺う。</p> <p>⑪外国人住民の自律と社会参画キーパーソンや外国人自助組織の育成について伺う。</p> <p>⑫全国的に空き家は行政上の問題としても大きくクローズアップされている。本市においても同様の問題を有していることから、その解決策の一つとして、外国人労働者の方々に空き家に住んでいただくことを本市としても積極的に推奨してはどうか見解を伺う。</p>

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)		
7	小林由明 (一問一 答方式)	1. 持続可能 都市の実現	(1) 水道局移 転後の燕 庁舎の活 用につい て	<p>①燕庁舎はかつての燕市役所であり、市民生活になくてはならない極めて重要な施設であった。都市が生まれ変わることのできる時代にあって、水道局移転後の燕庁舎においても、地域の歴史・文化、住民の想いが込められた、未来の展望を実現する重要な拠点施設として、その可能性や価値を十分に発揮させなければならないと考えているが、市の考えを伺いたい。</p> <p>②以前から学習室の設置を求める小中高校生の声に応える考えはあるか。</p> <p>③市街地中心部に位置し駅前立地の燕庁舎は、都市の持続に必要な居住・都市機能集積を実現するうえでも、それをけん引する存在になり得る施設である。これまで行政拠点として機能していたが、これからは市民とともに地域の活性化や空き家問題などの社会課題解決に資する地域拠点として、若い世代が利活用したくなるような機能性・デザイン性を持たせるとともに、ソーシャルビジネス等の創業や、域内外交流、市民活動を促進する施設として、また、駐車スペースの不足するマチナカを補完する重要な玄関口としてその整備を進め、質の高い運営ができるよう民間活力の導入や官民協働も視野にその体制を構築すべきではないか。</p>	(2) 子育て環 境の充実 について	<p>①質の高い保育・幼児教育を実現するために、園やセンター職員等の研修機会充実をはじめ、知育玩具購入予算の拡充、こども政策部職員や園職員の資格取得支援など、子育て環境充実についての最近の市の取り組みには大きな変化があり高く評価されるべきものと考えている。子育て環境の充実というには様々な視点や取り組みが必要ではあるが、その中でも、読書環境向上の取り組みについては、未だその余地は大きい。子どもたちの読書環境の向上についてより注力していく必要があるのではないか。</p> <p>②学校図書については、2016年から現在に至るまで、それまで800～900万円程度の予算からその倍額程度の予算がつけられてきているが、保護者を通じて「本が倒れるほどスカスカな状態」といった児童の声が届いている。学校図書の現状と今後について、また学校図書館が抱える課題について伺いたい。</p> <p>③図書の購入については、園や学校など施設単位で行っている。施設単位での購入は図書標準や予算手当の関係もあり、施設規模等によって質・量に格差が生じてしまう傾向がある。園やセンター、児童館、学校など市の子育て関連施設全体を、縦割りではなく市立図書館を含めて一つの枠で図書を購入し運用することで、図書の充実や子どもの読書環境の向上について、より効率的効果的な取り組みができるのではないか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
7	小林由明 (一問一 答方式)	1. 持続可能 都市の実 現	(2) 子育て環 境の充実 について	<p>④幼児期における絵本の読み聞かせは、世界中の保育園・幼稚園で実践されている教育的活動の一つであり、幼児期の読み聞かせ体験が、非認知能力の向上や情緒の安定をもたらすなど様々な効果があることがいくつかの研究で報告されている。市は絵本のもつ力、その重要性についてどのような考えを持っているか。</p> <p>⑤燕市子育て総合支援センター「すくすく」は、幼児教育の適齢にあたる小さな子どもたちと親御さんたちを支援する重要な施設である。幼児期における絵本の重要性を踏まえ、「N I C木戸えほん館」のようなすばらしい絵本に触れることのできる環境を燕市の代表的子育て施設である「すくすく」に整備し、さらなる機能の向上と燕市の子育て環境の魅力向上を図ることはできないか。</p> <p>⑥センター、児童館など子育て関連施設において、少数職員が長期に渡りほぼ固定的に勤務するという傾向が見えるが、その弊害はあると考えている。人事異動の効果に目を向け、職場環境の改善やサービスの向上、職員個々の能力向上につなげるために、園も含め、子育て関連施設における人事異動を柔軟に実施することはできないのか。</p>
8	土田昇 (一問一 答方式)	1. 市営住宅 の現状と 今後の見 通しにつ いて	(1) 各地域の 入居率 等々につ いて	<p>①燕地区の栄町団地は建築年数が昭和34年から昭和37年の3月31日に建設された団地ですが、現在入居停止団地になっています。その内容は管理戸数58棟、空室34室、入居戸数24戸、入居率41%になっているが、今後の対応と見通しと、同じく入居停止している緑町団地、新生町団地、花園町団地の見通しについても詳細に伺います。</p> <p>②吉田地区では宮裏団地が昭和31年の建築で年数が67年経過していますし、ここも入居停止団地であり、その内容は管理戸数3棟、空室1室、入居戸数2戸、入居率67%であります。西太田1号団地は0棟になっていてここは解決できたと思いますが、今後どのようになっていくのか考えがあったら伺います。東栄町団地、桃山団地、栗生津団地も入居停止団地になっていますが、今後の見通しについて伺います。</p> <p>③分水地区の市営団地3ヶ所の説明を求めます。</p> <p>④入居した時に求められる保証人の関係は現在どのような状況か契約更新の状況もどのようになっているか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)				
8	土田昇 (一問一 答方式)	2. 国道116号線バイパスの現状と今後の取り組みについて	(1) 国の取り組みの進捗状況について	<p>①法線が決定されてから現在までかなりの時間が経過しているが現状の取り組みと今後の見通しについて市の認識を伺う。</p> <p>②環境調査は終了していると思うが調査結果を公表すべきと思うが、その認識について伺う。</p> <p>③地権者の数と話し合いの状況はどうなっているか、問題はないと思うがその認識について伺う。</p> <p>④国の予算の関係で市に対する説明があったのか伺う。</p> <p>⑤国土交通省は市に対する説明予定はあるのか伺う。</p>				
9	長井由喜雄 (一問一 答方式)	1. マイナ保険証について	(1) 「マイナ保険証」と「資格確認書」と「資格情報のお知らせ」について	<p>①燕市内医療機関におけるマイナ保険証利用の機関数はどうか。また、市内全医療機関数に対して何%となっているか伺う。</p> <p>②マイナ保険証実施に伴う被保険者の確認手段と不利益について多くの報道がされているところだ。現在マイナンバーカードをマイナ保険証として紐付けしている人はどれくらいか。12月2日以降燕市が保険者となっている国保や事務を行う後期高齢者医療については「資格確認書」と「資格情報のお知らせ」をどういう条件で発行・通知していくのか伺う。また、現在の「短期証」「資格証」はどうなっていくのか伺う。</p> <p>③国保は退職者など前期高齢の74歳までの加入者も多い。また後期高齢者医療は75歳以上で、介護保険の利用者も増えて行く。施設入所となった場合は保険証の預かりや利用については施設管理ともなる。カードの5年更新の時期とも重なっていくが、問題点はないのか伺う。</p>	(2) 国民健康保険保険者として混乱なく使える「資格確認書」を全被保険者に発行を	<p>①マイナ保険証未対応、停電、バッテリーや一切など災害時を想定してもマイナ保険証の矛盾点は明らかであり、国保被保険者の受診権確保のためにも現状においては「資格確認書」を全被保険者に発行すべきではないか。</p>	(3) 国民健康保険保険者として国に対してどういう姿勢でのぞむか	<p>①国は、来年の7月末までは現在の保険証が使えることを強調している。しかし国民が感じている矛盾点について解消することもなくマイナ保険証への全面切り替えを行った。保険者として今後国に対してどういう姿勢で臨んでいくのかお聞きする。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
9	長井由喜雄 (一問一 答方式)	2. 公共施設 トイレに 便座クリ ーナーの 設置を	(1)市役所本 庁舎内に おける便 座クリー ナーの設 置状況に ついて	①市民から市役所本庁舎内での便座クリーナーの設置について要望が寄せられた。1階には全ての個室トイレに設置されているが、2階以上には無いことが指摘されている。現状と対応についてお聞きする。
			(2)市役所本 庁舎以外 の子育て、教 育施設を含 む公共施 設におけ る設置状 況につい て	①公共施設において洋式化も進んでいるが、便座クリーナーの設置の状況はどうか。衛生面、感染症予防対策の観点からもコロナ禍を経て必要なことと考えるがいかがか。
		3. 燕市産業 史料館前 駐車場の 利活用に ついて	(1)駐車場の 利用状況 について	①駐車場として整備して以降の利用状況についてお聞きする。
			(2)県央地域 からの燕 市の玄関 口として の利活用 について	①地域的に全天候型こども遊戯施設も加わる。小規模イベントなどの場、キッチンカーなどへの場所の提供などで、関連し合った賑わいの場として利活用を図るべきではないかと考えるがいかがか。
10	田澤 信行 (一問一 答方式)	1. 基金の運 用につい て	(1)基金につ いて	①令和5年度の基金残高は106億8,685万円となっているが、基金残高の増減額の傾向について伺います。 ②基金残高の殆ど(98.6%)が積立基金となっていますが、今後の運用についての考えを伺います。 ③基金の使い道についてそれぞれの考え方はあると思うが、具体的にどのような判断材料に基づき、またそれはいつどのように決定されるのか伺います。 ④財政調整基金の適正値をどのように定めているか伺います。 ⑤基金の有効活用、また方向性を考える外部機関の必要性についての考えがあるのか伺います。 ⑥仲治奨学基金とはどういう基金か伺います。

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
10	田澤 信行 (一問一 答方式)	1. 基金の運用について	(2) ふるさと納税について	<p>①今年度の見通しと真水の寄付額についての見込みを伺います。</p> <p>②ふるさと納税がこのまま順調に推移していくと仮定した場合、何とかその寄付金を使おうとするのか、または基金としての積み増しをしようとするのか考えを伺います。</p> <p>③仮にふるさと納税額が激減、又は無くなつた場合の対応はできるのか伺います。</p>
			(3) 運用について	<p>①基金がすべて預金としている訳ではないが、どのような形で運用されているのか伺います。</p> <p>②運用方法、運用額とその運用利回り、運用益はどのようになつてているのか伺います。</p> <p>③運用規定など何か定められたものがあるのか伺います。</p> <p>④ふるさと納税100億円超えの市町村が増えている昨今、他市町村の運用方法は研究しているのか伺います。</p> <p>⑤基金の一部を利回りの高い商品、例えば株式などに投資してその配当金を使うようにしてはいかがか、またその配当金の活用候補として給付型の奨学金などは良いと思うがいかがか伺います。</p> <p>⑥今後は寄付金そのものを使うのではなく、寄付金を運用した部分を使う方向に転じる時期ではないのかと考えるがいかがお考えか伺います。</p>
11	小林 秋光 (一問一 答方式)	1. つばめ子育て応援カードのデジタル化について 2. 市内公共施設におけるEV充電器(EVステーション)の設置と利用促進策について	(1) デジタル化の促進と対象範囲	<p>①紙カードを廃止することで、どの程度のコスト削減が見込まれるのか、試算を伺う。</p> <p>②デジタル化に伴い、どのようなセキュリティ対策が講じられているのか、具体的な管理方法を伺う。</p> <p>③スマートフォンの操作に不慣れな方に対するサポート体制はどのように整備されているか施策を伺う。</p> <p>④現在、15歳未満が対象となっている「つばめ子育て応援カード」を高校生(18歳未満)まで拡大する検討はあるのかについて伺う。</p>
			(1) 市民への周知と利用促進策	<p>①市民に対してどのような方法でEV充電器の設置を広報し、利用方法を周知しているのか伺う。</p> <p>②EV充電器の設置を、車両以外の目的(例えば、自転車や電動スクーターの充電など)での利用も含めて検討しているのか伺う。</p> <p>③EV充電器を防災拠点や緊急時の電力供給ステーションとして利用する可能性を検討しているか伺う。</p>

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
12	岡山秀義 (一問一 答方式)	1. 部活動の 地域移行 について	(1) 運動部活 動・文化 部活動の 在り方に ついて	<p>文部科学省・スポーツ庁では、令和3年度から休日の部活動の段階的な地域移行や合理的で効果的な部活動を推進し、令和4年度に新たなガイドラインを策定した。ガイドラインには、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すとしており、燕市においても段階的に移行できるよう努力している。教員の働き方改革から始まり、これまで学校が主体となってきた部活動を新たに地域が主体となって活動する地域移行活動に移行する取り組みであるが、都市と地方では環境に大きな差があると私は感じている。運動や文化活動をする子どもが減り、身体を動かす場所や健康、発育、人間関係、心の成長までも奪っていくのではないかと危惧している。燕市では県内でも先頭に立ち令和4年度より、つばくろいきいきスポーツクラブを立ち上げ積極的に活動してきた。国の方針に従い競技や燕市の特性に応じ柔軟に進めてきたなか現状と課題、今後について伺う。</p> <p>①段階的に移行した本年度の活動競技、団体数について伺う。</p> <p>②部活動を地域移行したことでの新しい競技への選択肢や従来の部活動にはなかったスポーツに取り組む機会ができた。専門性の高い指導者から指導を受けられると考えるが保護者や子どもたちの反応について伺う。</p> <p>③休日地域移行できた部活動顧問の負担軽減はできたのか、移行できなかった部活動について声（文化活動含む）はあるのか伺う。</p> <p>④指導者はどのように選定しているのか、指導方法は適切か、研修状況や資格の必要性、指導者の確保（文化活動含む）について伺う。</p> <p>⑤これまで学校内で完結していた部活動であるが、地域移行により登録料や各団体によって違う活動費、送迎の負担などが発生する。こうした費用などの負担が家庭にかかることで、部活動をやりたくてもできない可能性が考えられる。今後、支援について検討すべきと考えるが認識を伺う。</p> <p>⑥燕市部活動の在り方に係る方針にあるように、段階的にスポーツ活動・文化活動が移行していく見通しについて、まだまだ保護者には認知されていない。小学校の保護者も含め全ての保護者へ丁寧に分かりやすく理解してもらえるよう説明するべきと考える。周知方法について伺う。</p> <p>⑦今後の方向性と社会教育関係団体との調整も含めた活動場所確保について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
12	岡山秀義 (一問一答方式)	2. 体育館・武道館空調設備の必要性について	(1) 社会体育施設空調設備について	<p>近年、記録的な猛暑が続いていることを受け、市内全小中学校19校の体育館に移動式空調機を4台ずつ配置6月10日から稼働し、県内初もあり大きな話題となつた。児童生徒・教員の熱中症リスクを軽減とともに、児童生徒が快適に体育の授業や運動、遊びができるようになり、さすが燕市、子育てするなら燕市と喜びの声が多く聞こえている。健康・スポーツ都市宣言をしている燕市では他市よりも市民一人ひとりが健康維持やスポーツ活動が盛んであり、子どもから高齢者まで多くの市民が体育施設を利用しているのが現状である。</p> <p>①子どもから高齢者まで毎日のように利用されている体育館や武道館、災害時には避難所になる事も踏まえ、市民のいのちを守る為にも、社会体育施設に空調設備を導入すべきと考えるが認識を伺う。</p>
		3. 公共交通について	(1) 公共交通運行委託選定について	<p>地域住民の生活移動手段となっている公共交通。本年10月1日には利用者がスマートフォンやパソコンを通してバス運行状況を確認できるバスロケーションシステムを導入するなど市民がより利用しやすくなるよう取り組んでいる。地域住民の移動実態や移動ニーズを踏まえ運行している「スワロー号」。燕・吉田・分水地区を結ぶ循環バスとして利用者に大切なバスである。委託事業者選定について伺う。</p> <p>①「スワロー号」委託事業について、合併後からどのような選定方法で行われてきたのか伺う。</p> <p>②自治体コミュニティバス委託に関しては価格だけではなく安全性や接客サービスなども含めて総合的に選定できるプロポーザル方式により市民が快適に利用できるようにすべきと考えるが認識を伺う。</p>
13	斎藤信行 (一括質問一括答弁方式)	1. てまりの湯について	(1) てまりの湯の課題について	<p>①てまりの湯は現状において利用者からの要望苦情などあるのか伺います。</p> <p>②利用者などからアンケートなど取っているのかも伺います。</p>
			(2) てまりの湯の駐車場について	<p>①合併当初てまりの湯の横の山を駐車場にという話があつたと思いますが、その後中止になりました。今後可能性があるのか伺います。</p>
		2. 大河津分水路改修事業について	(1) 大河津分水路改修事業における残土利用について	<p>①大河津分水路改修事業における残土利用の現状と今後について伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
13	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	2. 大河津分水路改修事業について	(2) 大河津分水路改修事業におけるインフラツーリズムは	<p>①大河津分水路改修事業におけるインフラツーリズムの現状について伺います。</p> <p>②残された旧可動堰について、現状と今後について伺います。</p>
		3. 人材育成と働き方改革と雇用について	(1) 終身雇用について (2) 中途採用について (3) 人材育成について	<p>①終身雇用の現状と今後について伺います。</p> <p>②早い時期の退職者について現状を伺います。</p> <p>①中途採用の現状と今後について伺います。</p> <p>①人材育成の現状と今後について伺います。</p>

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
15	田中 淑子 (一問一 答方式)	1. 指定管理について	(1) ビジョンよしだについて	<p>ビジョンよしだはオープンして30年余りになりますが、その頃から利用させていただいています。旧吉田町の時から、とても大切でありがたい施設です。10年前、夏休みに息子がアルバイトをさせてもらっていたので行きました。その時水質が良くなかったので、すぐプールから出てそれ以来一度も行くことはありませんでした。</p> <p>昨年リニューアルし、視察をさせていただきました。オープン前なので水質は透明です。今度はいいかなと思い、また夏に行きましたらやっぱり濁っていました。そこで、泳いでいる方に聞きましたら「夏休みは子どもも多いし、何といっても安いから仕方ないね」と言われ、それも一理あるかとは思いますが、それでいいのかなと疑問を持ちました。その後、秋にもう一度行きましたが、夏より良かったです。</p> <p>私は20年程、民間のスイミングスクールに通っているので、水質に敏感なのかもしれません。毎月数千円の会費を払っている所と、ビジョンのようにプールとお風呂で65才以上は400円ですから、比べてはいけないと思ってきました。</p> <p>ある時、市民の方からビジョンの水がどうして汚いのかと質問され、また、市外の方からも「吉田に住んでいる友達からビジョンのプールは汚いと聞いた」との話を聞き、今回質問させていただきます。</p> <p>①夏はイベントもあり、冬と比べ利用者が多くなると思いますが、その対策を伺います。</p> <p>②子どもたちは夏休みだけでなく、冬休みや春休みもあるので、その都度イベントを開催したら良いのではと思いますが伺います。</p> <p>③ビジョンだけでなく、来年は「全天候型こども遊戯施設」もオープン予定なので、ぜひ、意見箱の設置をお願いしたいのですがいかがでしょうか伺います。</p>
16	宮路 敏裕 (一問一 答方式)	1. 公共交通について	(1) 交通弱者に寄り添った交通計画づくりについて	<p>①燕・弥彦地域公共交通計画については、今後、次期「計画」の策定の運びとなるが、令和5年度に高校生を対象としたアンケート、また、令和6年度には高齢者及び、利用者へアンケートが行われている。その中で、市が運営するコミュニティバス及びオンデマンド交通について、市民のニーズや改善を望む意見、課題などどう捉えているのか伺う。</p> <p>②本市では、コミュニティバスの運行状況等をスマホで確認できるバスロケーションシステムの運用を10月から始めたが、市民からの反響などはどうか。また、周知はどうしてきたのか伺う。</p> <p>③コミュニティバス実証実験が令和2年10月から始まり、この間停留所の改善などもあり、利用者に定着しつつあると思うが、どう捉えているのか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
16	宮路 敏裕 (一問一答方式)	2. 旧県立燕労災病院跡地利用の予定について	(1) 旧県立燕労災病院跡地利用の予定について	<p>①跡地に県立特別支援学校の建設が予定されていることを知る市民の方がいる反面、関心があっても知らない市民の方もおられる。特に、病院周辺の市民の関心度合いは高いと思われるが、県が特別支援学校建設を決定して以降で、自治会・住民へのお知らせなどはあったのか伺う。</p> <p>②来年以降の工事にあたり、地域住民へ建設工事スケジュールや学校開校の理解を図る説明会が求められると思うが認識を伺う。</p> <p>③市は児童・生徒の就学相談や支援を常時行っているところだが、新たに特別支援学校の開校に当たり、きめ細かなニーズ把握に努め、県にも周知し、保護者が安心して送り出せるようにすることが求められるのではないか認識を伺う。</p> <p>④跡地利用において、学校建設以外の敷地部分の有効活用について、市として市民の声、意見など県に申し上げることができるのか伺う。</p>
17	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 来賓席からの写真撮影について	(1) 式典における議員の来賓席からの写真や動画撮影について	<p>これまでも卒業式・入学式、その他の式典で来賓として参列している同僚議員が、スマホで写真撮影を行っているのを目にしたことが何度もある。撮影許可なしでの、この様な行為は盗撮と言われても致し方ないものである。</p> <p>①議員の、この様な行為をどう思われるのか伺う。</p> <p>②大きな問題になる前に、市や教育委員会が主催する式典等での写真や動画撮影を禁ずることはできないか伺う。</p>
		2. 学校に関する物品購入について	(1) 学校に関する物品購入の契約について	<p>11月7日に開催された全員協議会での話である。令和5年度「小学校教師指導書・デジタル教科書」の契約金額が合計で3,232万9,220円であったが、2,000万円以上の契約については、議会議決が必要であり、市がそれを怠っていたとの説明があった。</p> <p>①何故この様なことになったのか、詳しく説明していただきたい。</p> <p>②教科書は取り扱い業者が決まっていて、現在は業者が1社だけとの説明があった。この権利について説明していただきたい。</p> <p>③前回は3社での契約だったとの話である。1社になれば独占ということになる。(株)K書店1社になってから、市がこの業者と取り引きを行っている各年度の内容と金額を伺う。</p> <p>④今後、児童数が減り、学校の規模は小さくなっても学校が無くなることはない。ということは、将来もずっと(株)K書店だけと契約を続けるということなのか伺う。</p> <p>⑤他の2社においては、廃業して店舗が無くても、教科書を扱う権利だけでも残してやることはできないのか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
17	タナカ・キン (一問一 答方式)	2. 学校に関する物品購入について	(1)学校に関する物品購入の契約について	<p>⑥自治体は事業全般で、透明性や公正性が厳しく求められている。また、市内業者の育成という観点からも、1社だけとの随意契約は不自然と言えるのではないか伺う。</p> <p>⑦いま全国で、書店が無くなっている時代である。仮に、この（株）K書店が廃業ということになれば・・・？ということも想定して、今後の最善策を講ずる必要があるのではないか伺う。</p> <p>⑧市と物品の取り引きを行う業者は、物品入札参加資格が必要である。現在、この名簿に登録されている書店は、（株）K書店と燕地区に別のK書店だけである。この業者は何故、学校教科書に参加できないのか伺う。</p> <p>⑨物品入札参加資格を取得するためには、決められた申請書を提出しなければならない。審査内容について説明していただきたい。</p> <p>⑩私は、この（株）K書店のことは知らなかつたが、全員協議会で同僚議員が同じ名前の（株）K書店は、以前は別の場所で営業していたと発言している。前の（株）K書店は廃業ということではなく、契約書にある住所に移転したということで間違いないか伺う。</p>